

令和6年度 京都大学一般選抜 出題意図等

国語（理系）

- ・「出題意図等」とは、出題意図または標準的な解答例のことです。
- ・入学試験問題の満点や配点については、試験問題に記載のとおりです。
- ・各学部における個別学力検査の配点については、一般選抜学生募集要項に記載のとおりです。
- ・標準的な解答例については、ここに示す表記に限るものではありません。
- ・「出題意図等」についての質問および問い合わせには対応いたしません。

出題意図 国語（理系）

大問一

出題意図（問題一全体）

問題文は、筆者がロシア語学習経験を通して感じた楽しさと、その楽しみの内実に対する筆者なりの分析を、オクジャワの不思議な詩に関する考察を通して語るものである。新しい言語の学習によって、従来の自分の思考の殻が掘り崩され、これまでとは異なる世界の見え方とともに新しい自分が丸ごと再生してくるような感覚を覚える、というダイナミックな体験を、独自の清新な表現で的確に捉えていて魅力的である。言語学習に限らず、思考や認識を大きく揺さぶられ、新しい世界の見え方を何度も体験する喜びは、これから学問を志す受験生にも共有してもらいたいところである。

本文は平易な行文でユーモラスに綴られてはいるが、メタファーやアナロジーを用いているほか、段階的に思考を深めていくという奥行きを持っており、設問に対する解答を適切に書くことは容易ではない。各小問では、本文の議論の流れに即しつつも、本文の表現を単に引き写すのではなく、解答者なりの理解を適切に盛り込んだ表現で、わかりやすく説明できるかを問うた。

出題意図（個別問題）

問一：筆者がロシア語を学んだ際に、思考の根本から再構築されるような衝撃を受

けた体験について、前後の表現を理解し簡潔にまとめる能力を問うた。「真っ白」

「浮き輪」「海」といった比喻表現を手がかりに、何に幸福を覚えているのかをきちんと説明することが求められる。単に本文中の表現を拾って傍線部を繰り返している解答の評価は低かった。

問二：進路選択の際に「逃げ場がないような崖っぷち」を探していた、ということ
を、わざわざ「加えて」説明する筆者の心情について、文脈を踏まえて的確に表現
する能力を問うた。曾祖父のエピソードからどんな心情を説明しようとしているの
かを察知する必要がある。

問三：自身のロシア語学習の経験を、より抽象的・普遍的な言語学習時の体験とし
て再検討する箇所について、比喻表現の意味内容を的確に説明する能力を問うた。

問一の繰り返しにならず、とりわけ「見知った世界に新しい名前がついていく」を、
どう普遍的な事象としてかみ砕いて説明できるかが鍵となる。

問四：新しい言語の学習が新しい世界の見え方を開くように、不思議な詩の言語を
理解する過程にも新しい意味を開いていく喜びがある、と語った筆者が、それでい
てなおも言語と意味との関連には多くの謎が残り、だからこそ面白いと含みを持た
せる箇所について、詩の言葉を引用しながらその含みを説明する力を問うた。辞書
通りの意味を疑うことで、言語同士の今までにないつながりからある種の真理に迫
ったと感じたものの、その真理はまた手元からすり抜けていってしまう、というも
どかしさを、段階を踏んで説明する必要がある。前後の表現を単純な言い換えでつ
ないだ解答の評価は低かった。

大問二

出題意図（問題二全体）

問題文は石原純によるもので、1925年に出版された論説文である。この文における表現と議論の展開を適切に理解した上で、論じられている内容や、筆者の考えと根拠の関係について、明解で誤解を引き起こさない適切な表現によって述べる力を問うた。

出題意図（個別問題）

問一 筆者が「運命」とする内容を踏まえて「悲しむべき」とする理由についての確に説明する能力を問う。

問二 筆者が考える美術作品の特性を理解した上で、「骨董的に取り扱われなければならない」という表現によって筆者が言わんとするところを明確に説明することを求める。

問三 筆者が考える芸術と科学との関係について、本文全体を踏まえて正確に理解し、筆者がどのようなことをなぜ「必要」だと考えるのか、十全に説明することを求める。

大問三

出題意図（問題三全体）

本問は、江戸時代の国学者によって記された和歌注釈書を題材に、古語と古典文法に関する基本的な知識に基づいて、古文の原文を正確に読解し、的確に説明する力を問うものである。

出題意図（個別問題）

問一：傍線部が和歌の一節に対する「諺解」の解釈であることを理解した上で、適切に説明することを求める。

問二：「実の理」と「作者の見る心」とがそれぞれ具体的に何を指すか、文章中から正確に読み取り的確にまとめた上で、傍線部の意味を適切に説明することを求める。

問三：傍線部における筆者の考えを十分に理解した上で、的確な現代語に置き換えることを求める。